

Chiba Weekly Report

2022 — 第 10 週 — 2022/3/7～2022/3/13

千葉県結核・感染症週報

千葉県感染症天気図 2

今週の注目疾患 3-4

破傷風

全数報告疾患集計表 5

定点報告（五類感染症）

疾病別グラフ 6-10

〈男女合計〉

RS ウイルス感染症・咽頭結膜熱・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎・感染性胃腸炎・
水痘・手足口病・伝染性紅斑・突発性発しん・ヘルパンギーナ・
流行性耳下腺炎・インフルエンザ・急性出血性結膜炎・流行性角結膜炎・
クラミジア肺炎・細菌性髄膜炎・マイコプラズマ肺炎・無菌性髄膜炎・
感染性胃腸炎（ロタウイルス）

疾患別・保健所別・年齢階級別集計表 11-14

〈男女合計〉

RS ウイルス感染症・咽頭結膜熱・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎・感染性胃腸炎・
水痘・手足口病・伝染性紅斑・突発性発しん・ヘルパンギーナ・
流行性耳下腺炎・インフルエンザ・急性出血性結膜炎・流行性角結膜炎

定点把握対象の五類感染症

千葉県感染症天気図 2022年 第10週

定点当たり報告数＝報告数/定点医療機関数

上段は定点当たり報告数

下段は報告数

定点	疾 病 名	流行状況	コ メ ント	10週	9週	8週	7週	6週
小児科	小児科定点医療機関数			127	129	129	130	130
	RSウイルス感染症			0.01 1	0.01 1	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	咽頭結膜熱			0.02 3	0.03 4	0.02 3	0.06 8	0.02 3
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.10 13	0.16 20	0.19 25	0.36 47	0.15 20
	感染性胃腸炎		千葉県(6.9)、松戸(6.0)、 香取(6.0)	4.16 528	4.08 526	3.82 493	3.85 500	4.49 584
	水痘			0.05 6	0.09 11	0.04 5	0.05 6	0.04 5
	手足口病			0.01 1	0.02 2	0.02 2	0.05 7	0.06 8
	伝染性紅斑			0.01 1	0.01 1	0.02 2	0.01 1	0.01 1
	突発性発しん		千葉県(1.0)	0.25 32	0.24 31	0.22 28	0.22 29	0.13 17
	ヘルパンギーナ			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.01 1	0.03 4
	流行性耳下腺炎			0.04 5	0.05 6	0.01 1	0.04 5	0.02 3
インフルエンザ	インフルエンザ定点医療機関数			205	208	208	208	208
	インフルエンザ			0.00 1	0.00 0	0.00 1	0.00 1	0.00 1
眼科	眼科定点医療機関数			34	33	33	33	33
	急性出血性結膜炎			0.03 1	0.00 0	0.03 1	0.00 0	0.00 0
	流行性角結膜炎			0.15 5	0.12 4	0.09 3	0.15 5	0.09 3
基幹病院	基幹定点医療機関数			9	9	9	9	9
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
	細菌性髄膜炎			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.11 1	0.11 1
	マイコプラズマ肺炎			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.11 1
	無菌性髄膜炎			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.11 1	0.00 0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)			0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0	0.00 0
全数	風しん			0	0	0	0	0
	麻しん			0	0	0	0	0

備考



増加



やや増加



変化なし



やや減少



減少

※診断日を基準とします。報告の追加、取り下げ等により、数値は今後変動することがあります。

【今週の注目疾患】

《破傷風》

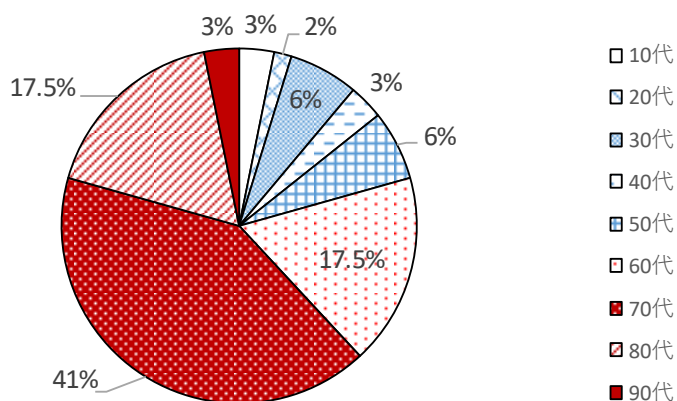
2022 年第 10 週に県内医療機関から本年 1 例目となる破傷風の報告があった。患者は予防接種歴有り（接種回数不明）の 10 代である。

2012 年から 2022 年第 10 週に県内では 63 例の破傷風の報告があり、性別では男性 35 例（56%）、女性 28 例（44%）で男性が多い。年代別では 70 代が最も多く 26 例（41%）、次いで 60 代と 80 代がそれぞれ 11 例（17.5%）であり、60 代以上の患者が全体の 79%を占めた（図）。一方で、沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン（沈降 DPT）が定期接種となった 1968 年以降に出生した患者（現在 53 歳以下）の症例も 9 例（14%）あった。

感染経路別では、創傷感染（動物の咬傷や転倒による擦過傷等）が 45 例（71.4%）で最も多い。次いで、その他（不明、明らかな創傷がない等）が 14 例（22.2%）、針等の鋭利なものの刺入による感染（竹や枝、釘が刺さった等）が 4 例（6.4%）であった。

ワクチン接種歴ありと記載のあった患者は 6 例（10%）であり、60 代が 3 例、30 代が 2 例、10 代が 1 例であった。なお、接種回数は不明である。ワクチン接種歴なしと記載のあった者は 8 例（13%）で 70 代が 7 例と 90 代が 1 例であった。その他、不明もしくは記載なしが 49 例（77%）であった。

図：2012 年から 2022 年第 10 週までの県内破傷風患者の年代別割合（n=63）



破傷風は、破傷風菌が産生する神経毒素による神経疾患である。破傷風菌が作る毒素は抑制性神経伝達を減少させ、神経を過活動の状態にすることで筋肉の痙攣やこわばりを起こす¹⁾。

症状は筋の痙攣、硬直である。脳神経支配の筋においては、開口障害、痙笑（顔面筋の痙攣により笑っているようにみえる症状）、喉頭痙攣、嚥下困難等として認められ、開口障害は初期症状として多い。四肢や体幹の筋においては、四肢、腹部、傍脊柱の筋群における硬直および疼痛を伴う痙攣、さらには後弓反張として認められる。交感神経の過活動により自律神経が不安定になり、頻脈、徐脈、高血圧、低血圧、多汗などの症状が認められる。意識は保たれる。致死率は 10~20% である¹⁾。

破傷風菌は芽胞の状態で土壌などの環境に広く分布する。破傷風菌の芽胞は創傷から侵入し、

嫌気状態の創傷部で発芽・増殖し、毒素を産生する。人から人へ感染することはない。ワクチン接種を受けていない女性から出生した新生児において、非衛生的な臍帯処置行われた場合、新生児が破傷風を発症する可能性はあるが、日本では 1995 年の 1 例以降、死亡例の報告はない¹⁾。

潜伏期間は 3～21 日であり、平均は 10 日である。新生児破傷風の場合は、生後 4～14 日間であり、平均は 7 日である。創傷部位が中枢神経系から近ければ、潜伏期間が短く、より重篤な症状、合併症、死亡の可能性が高くなる傾向がある¹⁾。

破傷風は自然感染では免疫が誘導されないため、ワクチンによる発症予防が非常に重要である。現在、定期接種第 1 期（生後 3～90 か月に至るまでの間）に沈降精製百日せきジフテリア破傷風不活化ポリオ混合ワクチン（沈降 DPT-IPV、四種混合ワクチン）を 4 回接種し、第 2 期（11～12 歳）に沈降ジフテリア破傷風混合トキソイド（沈降 DT、いわゆる二種混合ワクチン）を 1 回接種する¹⁾。

1968 年の破傷風ワクチン定期接種開始以降、小児における破傷風患者は激減し、患者の多くは定期接種開始前に出生した者である。しかし、第 2 期接種を忘れてしまうなど定期予防接種のスケジュールに沿ったワクチン接種を受けていない場合、10～20 代においても発症する可能性がある^{2)、3)}。

また、破傷風の発症予防には、前回の接種後から 10 年経過後の沈降ジフテリア破傷風トキソイド（沈降 DT）あるいは沈降破傷風トキソイドの追加接種が重要である²⁾。

2011 年 3 月 11 日の東日本大震災では、2011 年 3 月～2012 年 3 月の期間に、震災に関連した破傷風症例計 10 例の届出があった⁴⁾。破傷風菌は土の中など広く環境に分布しているため、誰でも破傷風にかかる可能性があり、その予防には創傷部の迅速で適切な処置と、定期接種を確実に受けることが重要である。創傷を負った場合には、ワクチン接種歴から判断して、破傷風の予防処置を行う。創傷部を洗浄し、泥や異物、壊死組織を取り除き、必要に応じて破傷風トキソイドを接種する。汚れていない浅い傷で、破傷風トキソイドを含むワクチンの 3 回以上の接種歴があり、かつ最後のワクチン接種から 10 年を経過していなければ、この傷によるワクチン接種は不要となる。定期接種が未接種あるいは前回の接種から 10 年が過ぎている場合には、破傷風トキソイドの接種を検討されたい。また、自分自身や家族がいつ何回、破傷風トキソイド接種を受けたのか記録しておくことも重要である¹⁾。

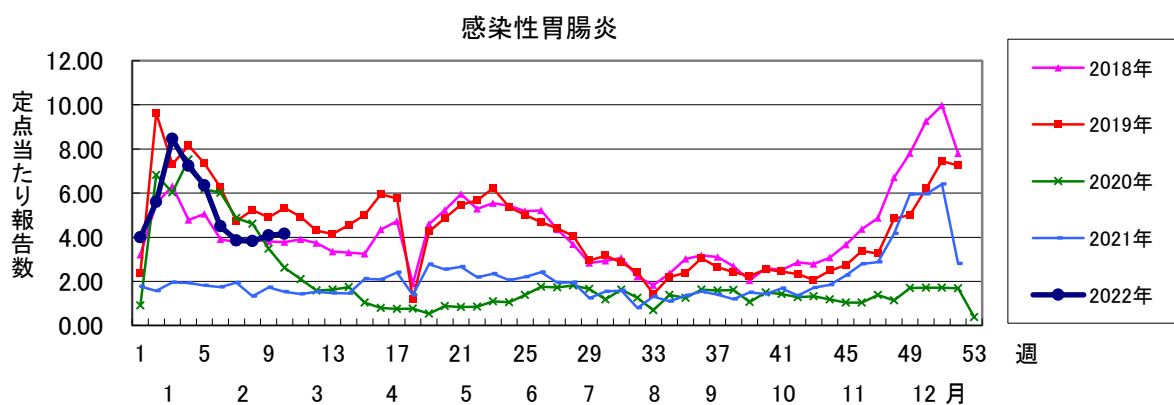
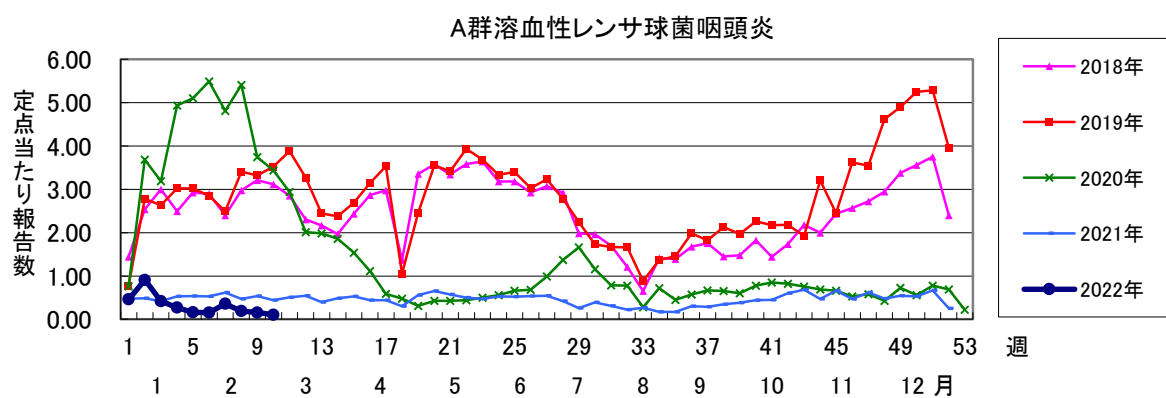
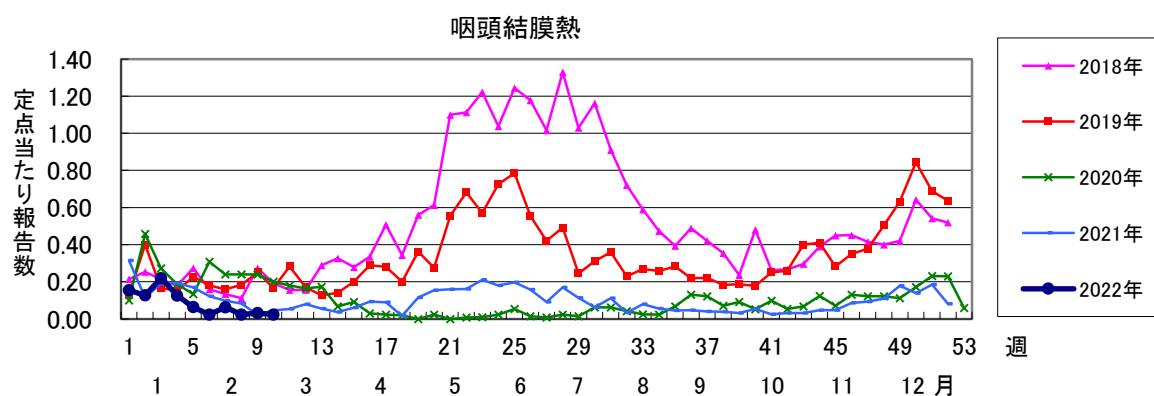
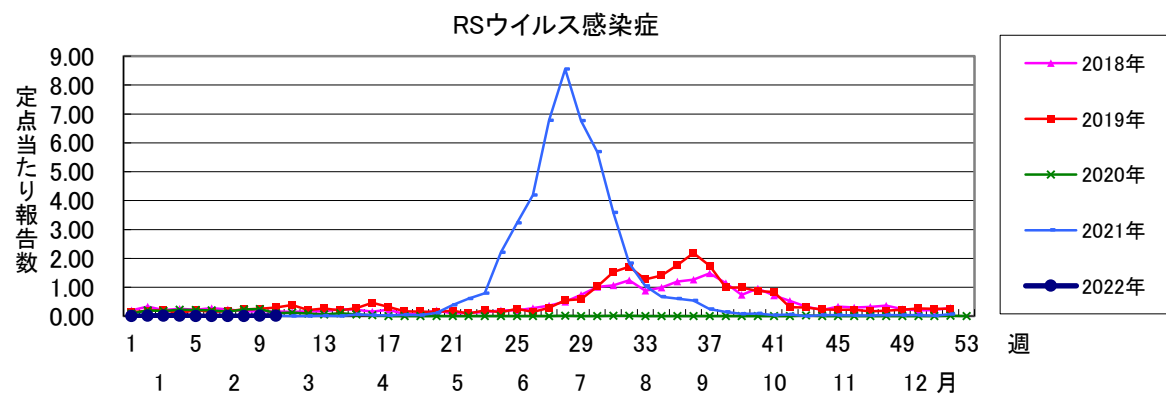
■参考

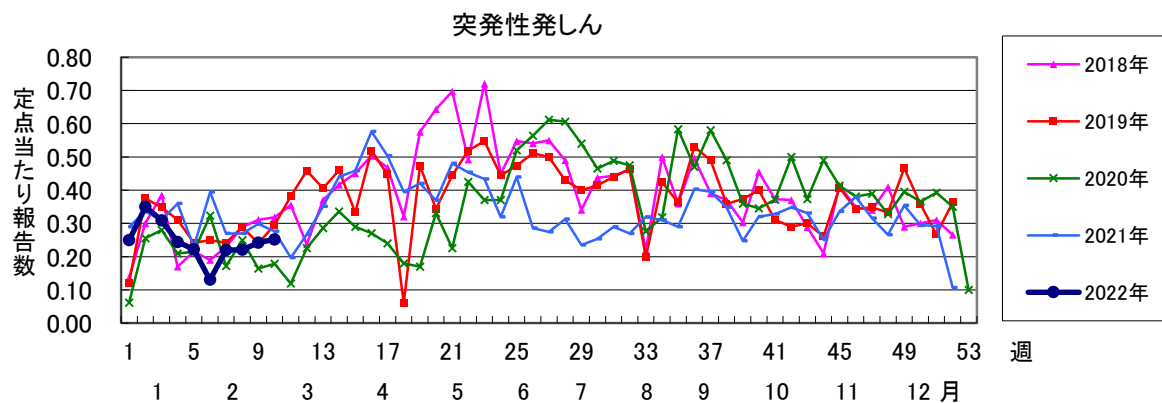
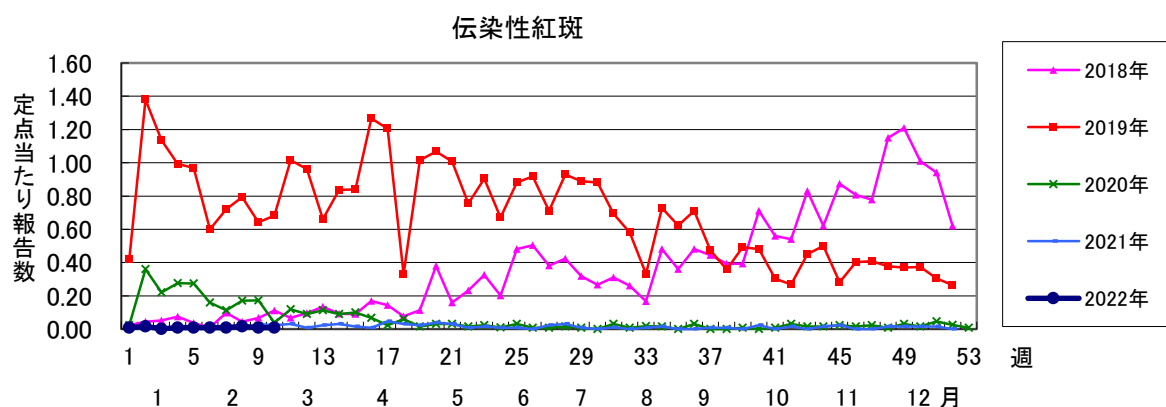
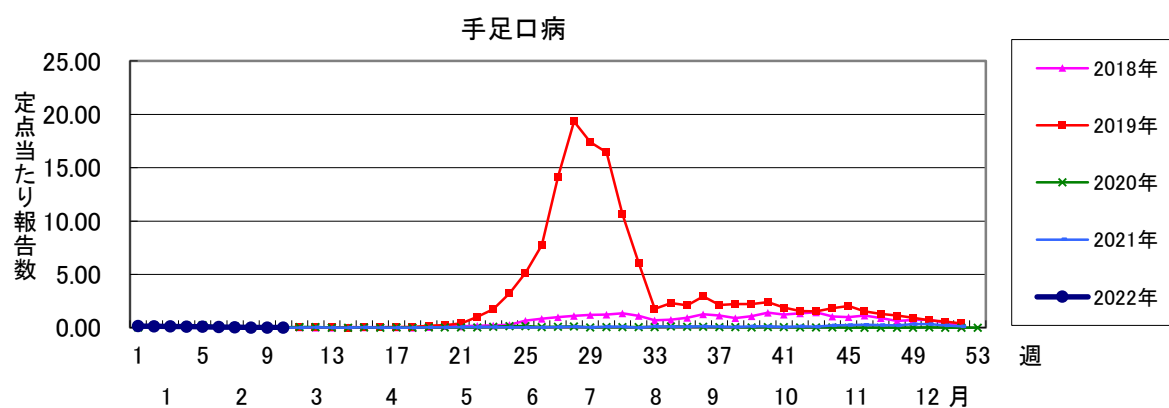
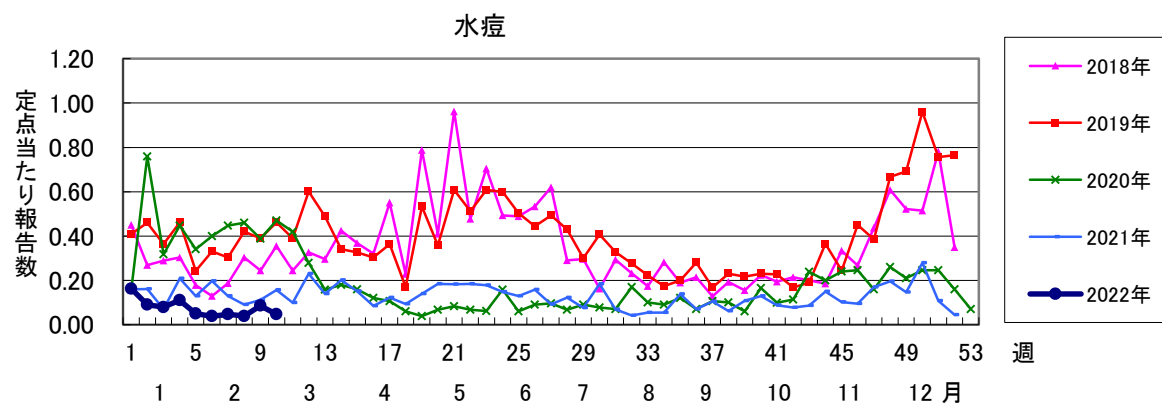
- 1) 国立感染症研究所：破傷風とは
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/466-tetanis-info.html>
- 2) 国立感染症研究所：破傷風の小児例
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/tetanis-m/tetanis-iasrd/6266-kj4325.html>
- 3) 国立感染症研究所：2 期の DT が未接種であった 10 代の破傷風発症事例
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/tetanis-m/tetanis-iasrd/7841-456d02.html>
- 4) 国立感染症研究所：IDWR 2012 年第 45 号
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/tetanis-m/730-idsc/2949-idwrs-1245.html>

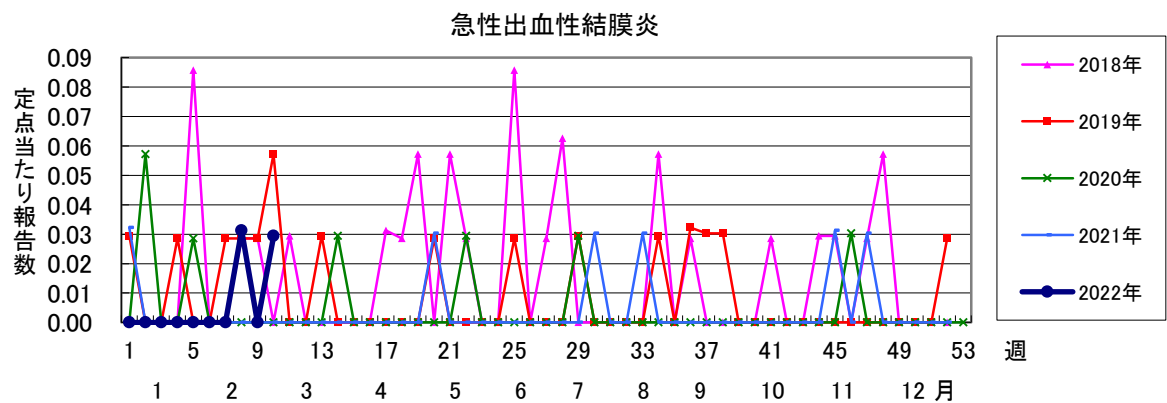
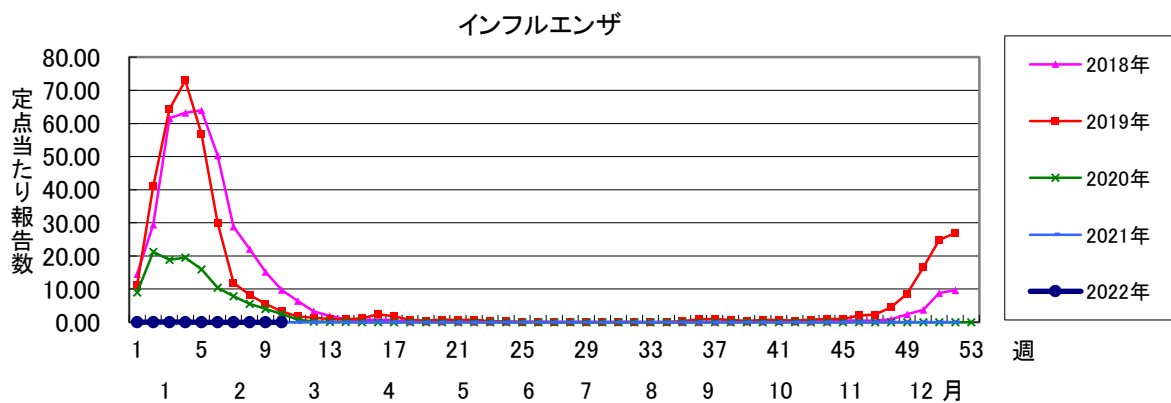
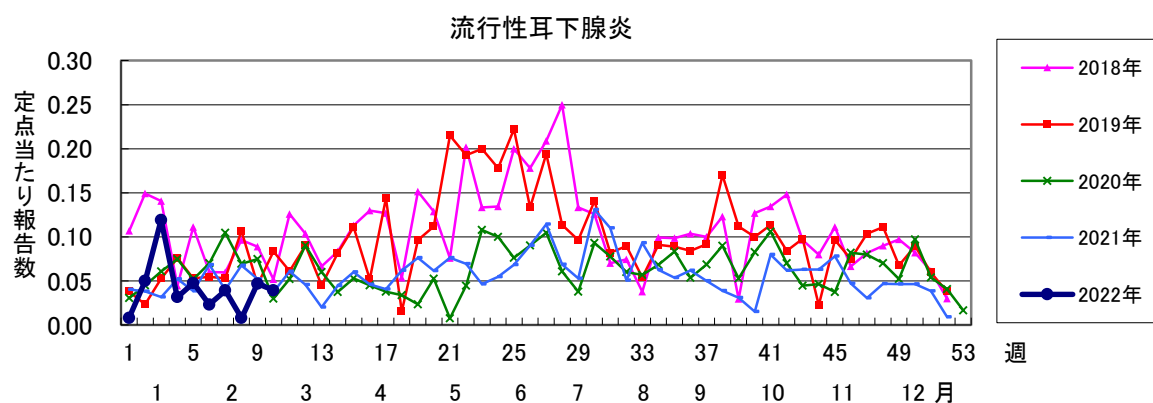
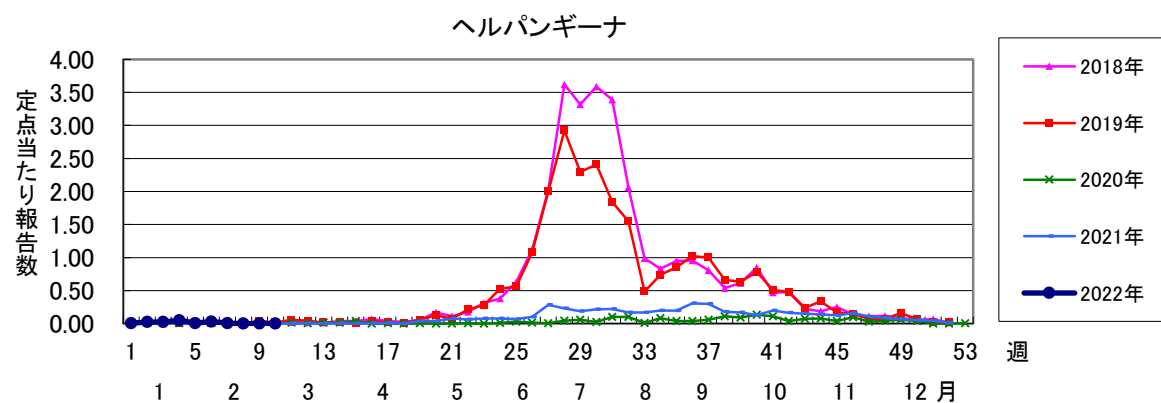
第10週全数報告疾患集計表

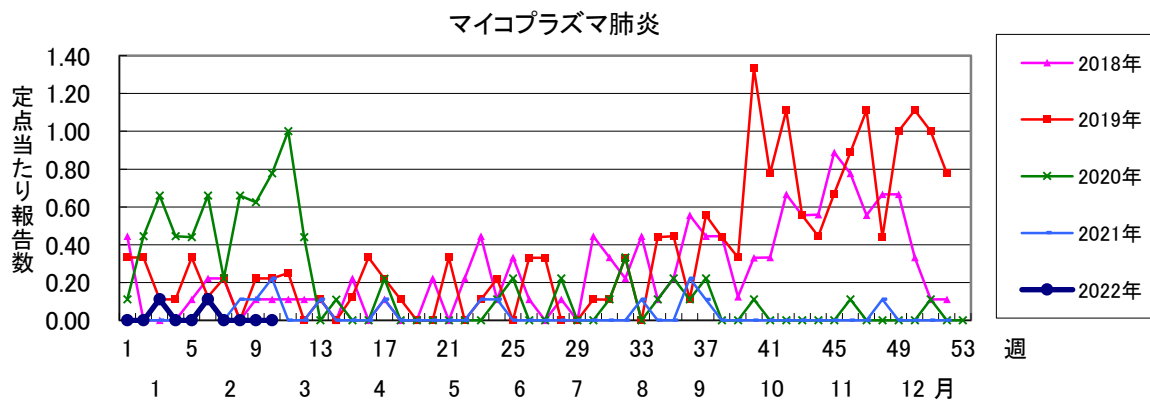
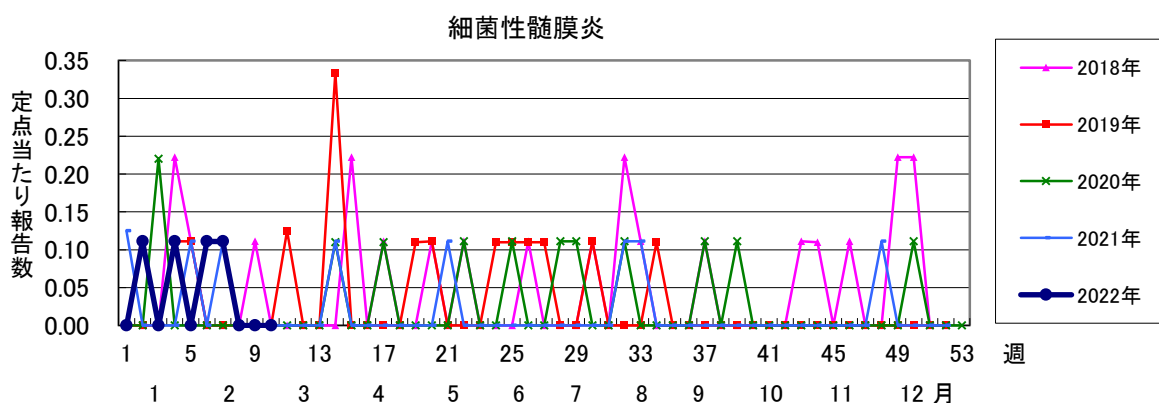
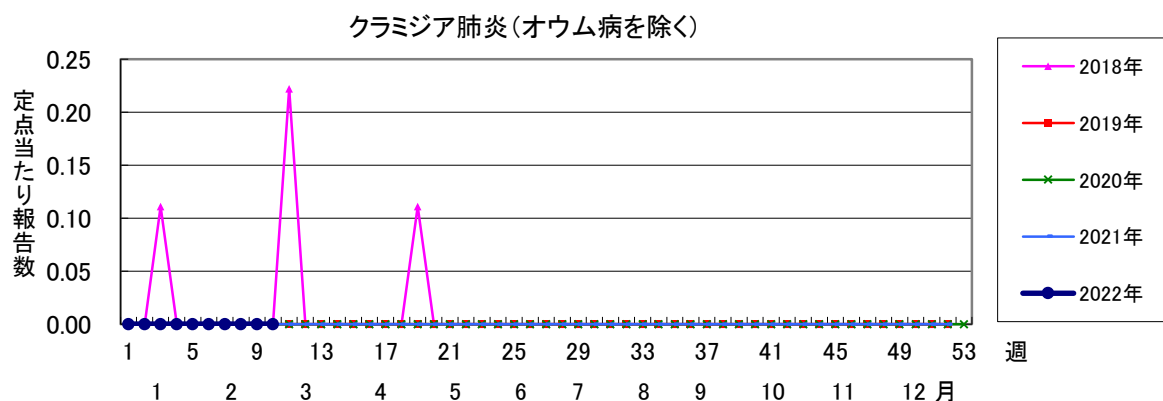
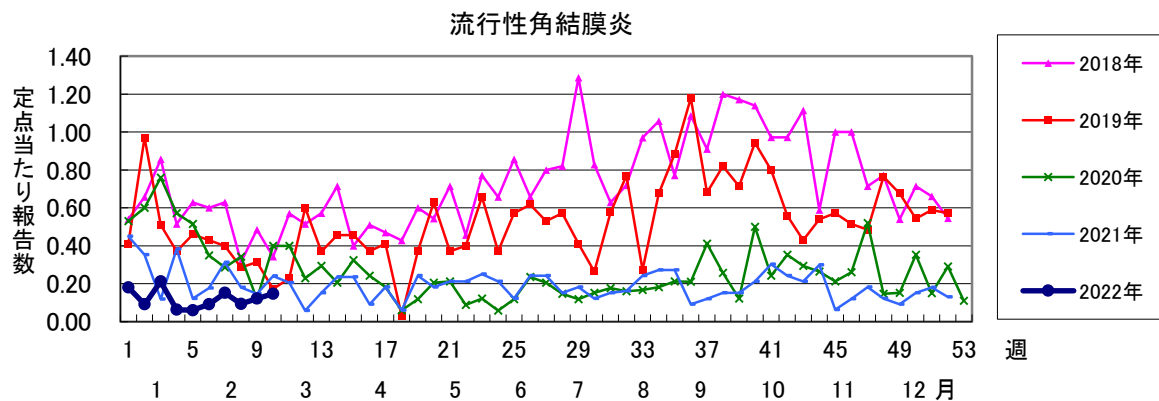
一類感染症	今週	累計(年)	四類感染症(その2)	今週	累計(年)
エボラ出血熱	0	0	日本紅斑熱	0	0
クリミア・コンゴ出血熱	0	0	日本脳炎	0	0
痘そう	0	0	ハンタウイルス肺症候群	0	0
南米出血熱	0	0	Bウイルス病	0	0
ベスト	0	0	鼻疽	0	0
マールブルグ病	0	0	ブルセラ症	0	0
ラッサ熱	0	0	ベネズエラウマ脳炎	0	0
			ヘンドラウイルス感染症	0	0
			発しんチフス	0	0
			ボツリヌス症	0	0
			マラリア	0	0
			野兔病	0	0
			ライム病	0	0
			リッサウイルス感染症	0	0
			リフトバレー熱	0	0
			類鼻疽	0	0
			レジオネラ症	0	10
			レプトスピラ症	0	0
			ロッキー山紅斑熱	0	0
二類感染症	今週	累計(年)	五類感染症(全数)	今週	累計(年)
急性灰白髄炎	0	0	アメーバ赤痢	0	2
結核	12	133	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	0	2
ジフテリア	0	0	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	8
重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0	急性弛緩性麻痺	0	0
中東呼吸器症候群(MERS)	0	0	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	0	2
鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	クリプトスポリジウム症	0	0
鳥インフルエンザ(H7N9)	0	0	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1
			劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	4
			後天性免疫不全症候群	1	6
			ジアルジア症	0	0
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0
			侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0
			侵襲性肺炎球菌感染症	1	5
			水痘(入院例)	0	1
			先天性風しん症候群	0	0
			梅毒	2	47
			播種性クリプトコックス症	0	2
			破傷風	1	1
			バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0
			バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	2
			百日咳	1	3
			風しん	0	0
			麻しん	0	0
			薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0
三類感染症	今週	累計(年)	新型インフルエンザ等感染症(その2)	今週	累計(年)
コレラ	0	0	新型インフルエンザ	0	0
細菌性赤痢	0	0	再興型インフルエンザ	0	0
腸管出血性大腸菌感染症	0	4			
腸チフス	0	0			
パラチフス	0	0			
四類感染症(その1)	今週	累計(年)			
E型肝炎	1	14			
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)	0	0			
A型肝炎	0	1			
エキノкокクス症	0	0			
黄熱	0	0			
オウム病	0	0			
オムスク出血熱	0	0			
回帰熱	0	0			
キャサヌル森林病	0	0			
Q熱	0	0			
狂犬病	0	0			
コクシジオイデス症	0	0			
サル痘	0	0			
ジカウイルス感染症	0	0			
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	0	0			
腎症候性出血熱	0	0			
西部ウマ脳炎	0	0			
ダニ媒介脳炎	0	0			
炭疽	0	0			
チクングニア熱	0	0			
つつが虫病	0	3			
デング熱	0	0			
東部ウマ脳炎	0	0			
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	0	0			
ニパウイルス感染症	0	0			
新型インフルエンザ等感染症(その1)	累計				
新型コロナウイルス感染症*	316,456				

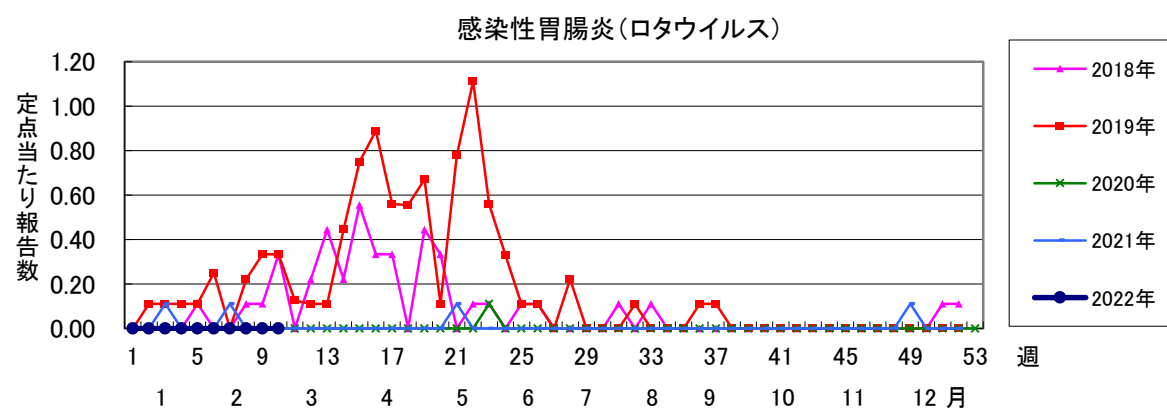
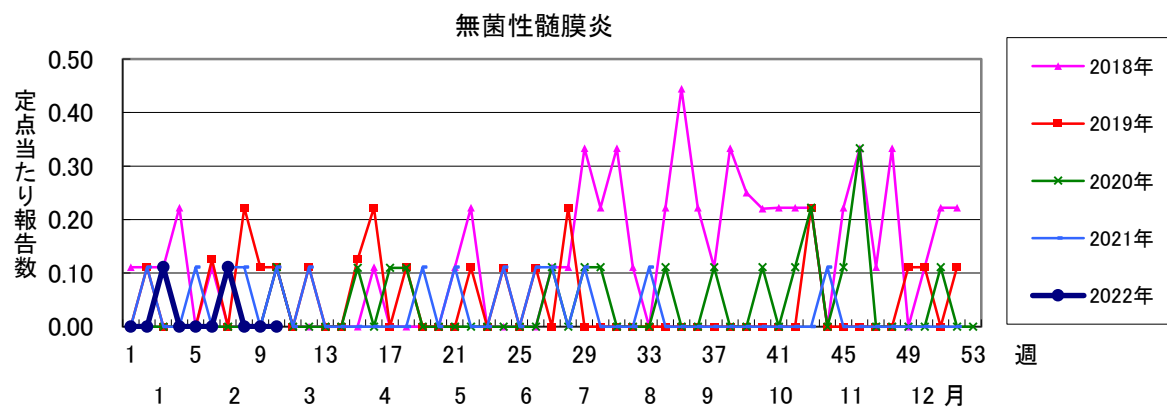
* 千葉県報道発表による(3月15日13時現在)











2022年 第10週				保健所別、年齢群別報告数(男女合計)															No.1		
				野	柏	松	市	船	習	千	印	香	海	山	長	夷	安	君	市	合	
				田	市	戸	川	橋	志	葉	旛	取	匝	武	生	隅	房	津	原	計	
小児科定点数				4	9	14	8	11	10	18	16	3	3	6	4	3	4	7	7	127	
RSウイルス感染症	～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳	1																		1	
	2歳 3歳 4歳																				
	5歳 6歳 7歳																				
	8歳 9歳 10～14歳																				
	15～19歳 20歳以上																				
	合計	1																		1	
	咽頭結膜熱	～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳	1																		1
		2歳 3歳 4歳	1																		1
		5歳 6歳 7歳																			
		8歳 9歳 10～14歳																			
15～19歳 20歳以上																					
合計		1 1 1																		3	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳																			
		2歳 3歳 4歳	1																		1
		5歳 6歳 7歳	1																		2
		8歳 9歳 10～14歳	1																		2
	15～19歳 20歳以上	1																		3	
	合計	1 1																		2	
	感染性胃腸炎	～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳	2 1 2 1																		6
		2歳 3歳 4歳	5 3 15 1 11 3 19 15 4 2 1 3 3																		16
		5歳 6歳 7歳	6 12 2 13 3 32 14 3 2 2 1 3 2																		92
		8歳 9歳 10～14歳	1 7 9 2 11 3 16 17 3 2 2 3 3																		76
15～19歳 20歳以上		2 4 8 5 5 3 17 6 2 1 1 3																		57	
合計		4 7 2 4 9 8 3 4 2 1 1 1 3																		39	
感染性胃腸炎		～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳	4 7 2 4 9 8 3 4 2 1 1 1 3																		26
		2歳 3歳 4歳	1 2 12 3 3 4 2 1 1 1 1 2																		31
		5歳 6歳 7歳	3 3 1 2 2 2 2 2 1 1 1 1 1																		15
		8歳 9歳 10～14歳	1 1 1 3 7 4 1 2 4 1 1																		10
	15～19歳 20歳以上	1 1 1 1 1 1 1 1 5 2 4 4 2 3																		51	
	合計	5 44 84 14 57 21 124 93 18 12 12 10 14 20																		528	

2022年 第10週		保健所別、年齢群別報告数(男女合計)															No.2		
		野 田	柏 市	松 戸	市 川	船 橋 市	習 志 野	千 葉 市	印 旛	香 取	海 匝	山 武	長 生	夷 隅	安 房	君 津	市 原	合 計	
小児科定点数		4	9	14	8	11	10	18	16	3	3	6	4	3	4	7	7	127	
水痘	～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳																		
	2歳 3歳 4歳																	1 1	
	5歳 6歳 7歳	1																1 1	
	8歳 9歳 10～14歳																	1 1	
	15～19歳 20歳以上																		
	合計	1																2 2 1	6
	手足口病	～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳																	
2歳 3歳 4歳																		1	
5歳 6歳 7歳																			
8歳 9歳 10～14歳																			
15～19歳 20歳以上																			
合計		1																1	
伝染性紅斑		～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳																	1
	2歳 3歳 4歳																		
	5歳 6歳 7歳																		
	8歳 9歳 10～14歳																		
	15～19歳 20歳以上																		
	合計	1																1	
	突発性発しん	～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳	1		3		1		6 8	1		2	1	1			1	1	8 18
2歳 3歳 4歳			1					2 2									1	3 2 1	
5歳 6歳 7歳																			
8歳 9歳 10～14歳																			
15～19歳 20歳以上																			
合計		1	1	3		1		18	1		2	1	1				1	2	32

2022年 第10週		保健所別、年齢群別報告数(男女合計)															No.3	
		野 田	柏 市	松 戸	市 川	船 橋 市	習 志 野	千 葉 市	印 旛	香 取	海 匝	山 武	長 生	夷 隅	安 房	君 津	市 原	合 計
小児科定点数		4	9	14	8	11	10	18	16	3	3	6	4	3	4	7	7	127
ヘルパンギーナ	～5ヶ月																	
	～11ヶ月																	
	1歳																	
	2歳																	
	3歳																	
	4歳																	
	5歳																	
	6歳																	
	7歳																	
	8歳																	
流行性耳下腺炎	9歳																	
	10～14歳																	
	15～19歳																	
	20歳以上																	
合計																		
流行性耳下腺炎	～5ヶ月																	
	～11ヶ月																	
	1歳																	
	2歳																	
	3歳																	1
	4歳																	2
	5歳																	1
	6歳																	
	7歳																	
	8歳																	
流行性耳下腺炎	9歳																	1
	10～14歳																	
	15～19歳																	
	20歳以上																	
合計																		5

2022年 第10週		保健所別、年齢群別報告数(男女合計)															No.4			
		野	柏	松	市	船	習	千	印	香	海	山	長	夷	安	君	市	合		
		田	市	戸	川	橋	野	葉	旛	取	匝	武	生	隅	房	津	原	計		
インフル定点数		7	14	23	13	17	16	28	24	6	6	9	7	5	7	12	11	205		
インフル エンザ	～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳																			
	2歳 3歳 4歳																			
	5歳 6歳 7歳	1																1		
	8歳 9歳 10～14歳																			
	15～19歳 20～29歳 30～39歳																			
	40～49歳 50～59歳 60～69歳																			
	70～79歳 80歳以上																			
	合計	1																1		
	眼科 定点数		1	2	5	3	3	2	5	4	1	1	1	1		1	2	2	34	
	急性出 血性 結膜 炎	～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳																		
		2歳 3歳 4歳																		
		5歳 6歳 7歳																		
		8歳 9歳 10～14歳																		
		15～19歳 20～29歳 30～39歳																		
40～49歳 50～59歳 60～69歳		1																1		
70歳以上																				
合計		1																1		
流行性 角結 膜炎		～5ヶ月 ～11ヶ月 1歳																		
		2歳 3歳 4歳	1																1	
		5歳 6歳 7歳																		
		8歳 9歳 10～14歳	1																1	
		15～19歳 20～29歳 30～39歳																		
		40～49歳 50～59歳 60～69歳	2																1	3
	70歳以上																			
	合計	1																3	1	5

※ 千葉県の感染症情報は、千葉県感染症情報センターのホームページを御覧ください。

URL. <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/index.html>

※ 全国の感染症情報(IDWR)は、国立感染症研究所感染症疫学センターのホームページを御覧ください。

URL. <https://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

千葉県結核・感染症週報 2022 年 第 10 週

発 行 千葉県衛生研究所
千葉県健康福祉部
千葉県医師会
事務局 千葉県衛生研究所感染疫学研究室内
千葉県感染症情報センター
〒260-8715 千葉市中央区仁戸名町 666-2
TEL. 043(266)6723 FAX. 043(265)5544

本週報は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づくものであり、千葉県内の医療従事者、定点医療機関、県及び千葉市保健所の皆様の御協力を得て、千葉県衛生研究所感染疫学研究室内の千葉県感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査などの結果に応じて、若干の変更が生ずることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。